



明日をつくる

・努力とする子ども (意)

・よく考える子ども (知)

・からだを鍛える子ども (体)

・仲よくする子ども (情)

よく考える子ども

～本物の学力の育成～

学校教育目標

ふるさとに学び 今を問い続け

明日をつくる たくましい子どもの育成

育成すべき資質・能力

- 「課題を見だし、それらの解決に向けて学び合う力」
- 「物事を批判的・多面的に考える問題解決能力」
- 「コミュニケーション力」

*OECD (経済協力開発機構) の調査によると、日本の学校は「子供に批判的に考える必要がある課題を与えていない」と長年、指摘されています。どうも日本語には批判的という言葉に否定的なイメージがあるからのようです。しかし批判的とは多面的な思考を意味します。「決まっていること、当たり前かもしれないことに疑問をもてる」「創造的な考え方ができる」ことです。

持続的で魅力ある学校教育の実現 (教育課程の工夫)

斐川 (荘原) のひと・もの・ことの活用

*持続可能な開発のための教育 (ESD)・・・環境学習・防災学習・伝統文化に関する学習・国際理解学習・人権学習など

現在の世代、将来世代のニーズを満たすような社会が実現するよう地域と共に取り組む学習のこと。

全面実施された学習指導要領には「持続可能な開発のための教育 (ESD)」の視点に立って学校と社会とのつながりを意識した教育活動を行うよう示されました。学校教育には様々な人とつながり、持続可能な社会を創造できる人間力の育成が求められています。本校は令和6年度全国社会科研究大会発表校として、社会科を中心に特色ある実践を進めます。社会科で学力を育成することは図表の読み取りや読解力を伸ばすことに繋がります。算数科や国語科などで培う学びを生かす教科と言えることから、学力向上を図ることができます。2学期の学校だよりでは授業実践の様子を紹介していきたいと思います。



荘原っ子大運動会

9月24日午前中に運動会を行いました。ステージ3の感染症対策が求められており、各家庭1名の参観をお願いしました。ご理解・ご協力をありがとうございました。児童の一生懸命に走ったり演技したりする姿があり、とても清々しく思いました。事前に全校で集まって練習する回数は少なかったのですが、6年生を中心にして練習や運営をすることができました。リーダーシップを発揮できる立派な6年生です。そしてスローガンの「心をつなげて」実行できる1～5年生児童のフォロワーシップも素敵でした。これが荘原小の子どもたちの団結力ですね。応援合戦や全校ダンスは、コロナに負けない元気とエールをくれたように思います。運動会で得た経験を2学期の学校生活につなげていってほしいと思います。



赤組：シンボル「ファイヤーイーグル」のように突き進み、ゴールを目指そう！



青組：シンボル「キングペンギン」のように集団行動をして団結・協力しよう！



黄組：シンボル「ハッピー麒麟」のように幸せを呼んでみんなで優勝しよう！



緑組：シンボル「グリーンクロコダイル」のようにするどい牙で優勝をつかみとろう！

左から緑組・黄組・青組・赤組のシンボル



1年生は初めての運動会

庄原の風

運動会は児童を成長させる大切な教育の場だと捉えています。本校のキャリア教育の視点（花咲く樹の合言葉）「は働かせよう心頭体 ④仲間とともに ⑤最高の自分をめざして ⑥苦しいことにも進んで挑戦 ⑦今日、この今をせいっぱい」を意識した取組ができました。一人一人の成長を感じます。

📖 日々の様子については、庄原小学校ブログをご覧ください。